

和紙の糸で紡いだ安産岩田帯について

枚岡神社を取り巻く鎮守の森は、お社とともに 1300 年以上の間大切に守られ、どんな時もみどりをたたえてきました。現在、枚岡神社では鎮守の森がより健やかに美しく保たれるよう手入れを行っています。

そんなお手入れで神様がお鎮まりの森から賜った木材と、国内で唯一木製の糸を使って布を作る会社「和紙の布」とが出会い枚岡神社だけの「和紙の布」が出来上がりました。

この度は枚岡神社社殿建立 1370 年を迎えるにあたり、平成 30 年に建替えられた「二の鳥居」の新旧の木材を取り入れ、枚岡神社の神様のご神氣が満ち満ちた布で、安産祈禱に参拝されます方々にお分かちする「岩田帯（腹帯）」を奉製いたしました。

この腹帯を身に着け、枚岡の神様のご加護をいただかれ元気な赤ちゃんをお産みになられますよう心よりお祈りを申し上げます。無事にご出産の後も、この布をご利用いただきまして、お手拭きや枕カバー、シーツ等いろいろなものに加工され、御守として長きに亘りお子様の身の回りにお使いいただければ幸いに存じます。



昭和 27 年戦後の枚岡神社鎮守の森
燃料用薪として乱伐されるも神社周辺は守られました



現在の枚岡山と枚岡神社の鎮守の森



昭和 55 年～平成 30 年の二の鳥居



平成 30 年生まれ変わった二の鳥居